

**令和元年 11 月 27 日 10 時 30 分 ～ 12 時 00 分**

<b>司会</b>	亀岡清泉荘 代表 松野	<b>記録</b>	亀岡清泉荘 代表 松野
-----------	-------------	-----------	-------------

**出席者** 南部地域包括支援センター・西村さま、南条区区长・菱田さま、民生委員後藤さま、利用者さまご家族・上野さま、長澤さま、亀岡清泉荘・岩橋、李原

**欠席者** 民生委員・並河さま、亀岡市高齢福祉課・土川さま、リンクす・吉川さま

1. 11月27日現在の利用者さまの状況（別紙参照）  
小規模多機能ホーム登録利用者さま：25名、グループホーム登録利用者さま：9名  
小規模多機能ホーム及びグループホームの利用状況、報告事項等
2. 利用者さまの地域について（別紙参照）
3. 職員体制（別紙参照）
4. 事業活動について（別紙参照）
5. 事業所内の活動について（別紙参照）
6. 今後の予定（別紙参照）
7. 小規模多機能ホームご利用事例紹介
9. その他

質問・要望・助言	回答・対応
ご自宅で転倒され、圧迫骨折された利用者さまの報告に関してアドバイス。「中部総合医療センターの理学療法士さんに相談し、自宅の動線と安全の管理などの指導を受けることもできる。またリハビリメニューの相談にもものってくれるので必要に応じて相談するといい。」	ご家族とも相談しながら、ご自宅での過ごし方など含めて相談の機会をつくるようにしたい。
エンディングノートのセミナーの情報に関してアドバイス。「包括支援センターでも情報提供を行っている。特にご家族とのコミュニケーションが少なくなっている高齢者の方には医療指示書等も含めて上手に活用できるような支援を心掛ける必要がある。」	セミナーでは、遺言書とエンディングノートの違いがあることに多くの方が関心を寄せていた。遺言書は亡くなってから開封するものであり、生存中の本人の意思はエンディングノート等で確認することができる。また成年後見制度などについても情報提供するようにしていきたい。
地域の小学校や中学校との交流の機会があり、生徒さんも喜んでいるようだ。今後はさらに保育園等との交流の機会を持つことも考えてもいいのではないかと。	発表会や交流の機会ができれば良いと思うので、職員もお世話になっている保育園等に声かけ、相談を行っていききたい。
グループホームの身体拘束廃止の取り組みについてアドバイス。「転倒・転落のリスクと安全管理、職員の負担軽減の問題は常に悩むところである、職員全員で、これでいいのかという意見交換を率直に行える風通しのよい職場風土をつくるのが肝要かと思う。」	職場会議でも個別のケースについて意見交換を行い、ご本人にとって何が最も適切なケアになるかを考えるようにしている。ホームの環境整備も含めて知恵を出し合っていきたい。

次回、運営推進会議は令和2年1月28日（火）10時00分～12時00分までの予定。